



黒森神楽を伝えよう

一昨年、昨年と学校林の伐採、植林を行い、数十年かけてできた立派な杉林が、また幼い苗の並び開けた斜面となりました。学校林造成委員会は伐採した杉を販売した利益を、黒森神楽衣装の購入のため、山口小学校に寄付してくださいました。

おかげさまで、新しい衣装がそろい、運動会でのご披露を予定していました。しかし、今年は感染予防対策のため、運動会が中止となり、その後も地域の方々に見て頂ける機会が無く、残念に思っていました。

3月2日(火)、今年の活動のまとめとして、伝承部による演技録画を行いました。当初はお世話になった地域の方々をお迎えし、黒森神楽の披露会を開く予定でしたが、感染予防対策を考慮し見合わせることになりました。

最後の舞台となった6年生を中心に、そろいの新しい衣装も誇らしげに、教えて頂いた新しい演目「御神楽」と「七つ物」を、元気に踊りました。



次の運動会が無事に開催できて、たくさんの皆さんに見て頂けるのが、今から楽しみです。

登下校の安全のために

山口小学校の学区は、県道宮古・岩泉線沿いを中心に広がっています。宮古北道路や三陸道が開通したことで、通勤時間帯を中心に交通量が増えました。

また、ベルフ西町や薬王堂に出入りする車も増えています。

毎日の登下校時に通学路の交差点等で見守ってくださるのは、交通安全指導員の西村弘美さん、田村俊司さん、鳥居昌子さん、佐藤耕七さん、山口団地自治会交通安全指導隊の佐々木政旨さん、在原栄治さん、スクールガードの岩船敏行さん、中谷義人さん、交通安全母の会の三上えり子さんをはじめとした地域の方々です。

暑さ、寒さに関わらず、子どもたちの安全に目配りしていただき、ありがとうございました。おかげさまで、今年も大きな交通事故はなく、1年間を無事に通学することができました。

安全を優先に

令和2年度は、生活のすべてに感染しない、させないという気配りが必要な1年となりました。

学習活動でも、配慮が必要な内容は、環境が整うまで延期されたり、見合わせになることもありました。

マスクが手に入りにくかった1学期には、手縫いでマスクを作る学習に、たくさんのボランティアの方がお手伝いをしてくださいました。その時できることを工夫して、学習を進める先生方のサポートを、保護者、地域の方が担ってくださることが山口小学校の強みではないでしょうか。

新年度になっても、まだまだ感染予防対策をとりながらの学校生活が続きます。安全、安心な環境で、必要な学びが続けられるよう、保護者、地域の皆さんといっしょに考え、取り組んでまいります。

コミュニティ・スクールのスタート

学校運営協議会を開催し、地域とともに子どもを育てようとする仕組みが、コミュニティ・スクールです。共有した学校の教育目標や育てたい子どもの姿を実現するために、さらにつながりを広げ、直接、間接に子どもや学校、地域に関わる活動を進めていきます。地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）が中心となって学校運営協議会と地域学校協働本部との連携を図り、いろいろな立場の人たちを結びつけていきます。学校を中心として、新しいネットワークができあがり、子どもも学校も地域も成長していくことが理想です。

【問い合わせ先】

山口小学校地域学校協働本部

電話 62-2723

地域コーディネーター 佐々木良恵